＜児童文化学科専門科目・学部共通科目＞　履修系統図

DP⑤　子どもに限らず大人も共有する文化の特性を把握し、その社会的意味を理解している。すなわち、文化のボーダーレス化が進む現代社会において、その原点となる<子ども>の視点や感受性・発想を分析・考察する能力を身につけている。

DP⑥　子どもにかかわる文化や文学について、理論的かつ実践的に探究することができ、その理解を通して、文化の伝承や創造に直接的あるいは間接的にかかわることができる。

STEP

4

卒　業　論　文 (4)　　卒　業　制　作 (4)

3

演　習 (3)

2

基礎演習 A/B (2)

キャリア研究 (2)

日本児童文学	海外児童文学	伝承文学	YA・ファンタジー	文化論	表現研究	制作	創作	翻訳・出版
児童文学 ・日本 A/B (1-4) 日本児童文学 研究 A/B (1-3)	児童文学 ・ドイツ A/B (1-4) ・イギリス A/B (1-4) ・フランス A/B (1-4) ・アメリカ A/B (1-4) ・カナダ (1-4) ・北欧 (1-4) ・韓国 (1-4) 英米児童文学 研究 A/B (1-3)	伝承文学 (2-4) 伝承文学 研究 (1-3)	ネオ・ファンタジー A/B (2-4) SF ファンタジー (2-4) 児童文学 ・YA 文学 A/B (1-4)	児童文化 ・紙芝居 (2-4) ・民俗と子ども (2-4) ・子ども論 (2-4) 人形文化論 A/B (1-4) サブカルチャー論 (1-4) キャラクター論 (1-4) ⇒ 絵本論 A/B (1-4) ⇒ アニメ論 (1-4) マンガ論 A/B (1-4) おもちゃ論 A/B (1-4)	ストーリーテリング 研究 Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ (1-3) マザーグース研究 (1-3) わらべうた研究 (1-3) キャラクター文化研究 (1-3) 絵本制作研究 Ⅰ－Ⅱ (2-3) 創作文化研究 Ⅰ－Ⅱ (1-3)	絵本演習 Ⅰ－Ⅱ (2-4) 絵本制作 Ⅰ－Ⅱ (2-4) アニメーション制作 A/B (1-3)	創作演習 A Ⅰ－Ⅱ (1-4) 創作演習 B Ⅰ－Ⅱ (1-4)	翻訳演習 Ⅰ－Ⅱ (1-4) 出版演習 Ⅰ－Ⅱ (1-3) 編集研究 (1-3)
児童文学から学ぶ				児童文化から学ぶ		制作・創作から学ぶ		

1

児童文学史・英語圏 Ⅰ－Ⅱ (2)

児童文学入門 A/B (1)　　児童文学史・日本 Ⅰ－Ⅱ (1)　　児童文化入門 A/B (1)

学部共通科目

人への理解と支援

（1～4）

- 現代社会と生涯発達
- ジェンダーと社会
- 子育て支援論
- 子どもと福祉
- 家庭の教育・地域の教育
- 学校と発達
- 子どもと社会
- 子どもとファンタジー
- 子どものイメージ

( )内は対象学年

太字科目　：　入学から卒業にいたるまで段階的に組まれた必修科目

CP（学生が広く学べるよう、自由選択科目群を低学年にも配置し、学生の知的関心を呼び起こす）の趣旨にそって選択の自由度を高めている。

ただし、「Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ」は、この順に履修する。

「⇒」は、左側の科目を取得してから右側の科目を履修することがのぞましい。